
逃走中 ～ 謎の人物との対決～

筆筈の角

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

逃走中 ～ 謎の人物との対決～

【Nコード】

N1237BA

【作者名】

箆笥の角

【あらすじ】

舞台は、とあるSA。サービスエリアゲームマスターは、ここで逃走中を催すが、謎の人物が妨害を謀る。果たしてゲームマスターは、妨害に負けず、無事逃走中を成功させることができるのか！また、80分間逃げ切り、96万円を獲得する者は現れるのか！！

「挨拶（前書き）」

ご挨拶です。

ご挨拶

初めまして！新しく小説を書く筆筈の角です！逃走中を中心として書いていくので、応援宜しくお願いします！！

逃走中は、ジャンプの頃から見ていて、すごく書きたいという想いがあつたので、書けることを凄く幸せに感じているので、精一杯頑張ります。でも初心者なので、拙い文章になってしまいかもしれませんが、ご理解の程、宜しくお願いします。

オリキャラではなく、アニメキャラが出る作品に仕上げていこうと考えています。こちらにも、ご了承ください。

1)挨拶(後書き)

今回は、概要と逃走者紹介と意気込みです。

概要、逃走者、意気込み（前書き）

今回は、大まかな情報です。

概要、逃走者、意気込み

（エリア詳細）

今回の舞台となるのは、「とある高速道路のサービスエリア」。駐車場に停まっているトレーラーで隠れることができ、また施設内にも潜伏できる。広さは、およそ東京ドーム2個分。なお、一般客も混じっている。

下半分・・・駐車場（トレーラー駐車）

施設・・・中央館（1F	お土産屋	2F	レストラン	3
F	ゲームセンター）			

西側・・・トイレ（自首用電話設置）、コンビニ、コインロッカー

東側・・・展望台、そよかぜ広場（牢獄設置）、公園

施設の入り口付近・・・屋台（全長400m）

施設の裏・・・歩道（道中の草むらに潜伏可）

（逃走者）

今回は、3作品より16人の逃走者が、80分間のゲームに挑む。

マリオシリーズ

・マリオ

・ルイージ

・ワリオ

・ワルイージ

・ピーチ

・デイジー

ボーカロイド

・初音ミク

・鏡音リン

・鏡音レン

・KAITO

けいおん！

・平沢唯

・秋山澪

・田井中律

・琴吹紬

・中野梓

・山中さわ子

以上、16人。

（意気込み）

Q目標金額は？

ルイージ「96万円です！！！」

ワリオ「当然96万円だ！ワリオ城建設のためにもな！ガッハッハ！！！」

リン「40万円位ですかね・・・」

律「全額の96万円だ〜！」

さわ子「そうね・・・60〜70万位は欲しいわ。」

Q賞金の使い道は？

マリオ「最近休みないから・・・バカンスにハワイでも。」

デイジー「う〜ん、特に考えてない・・・」

KAITO「アイスを買えるだけ買います!!」

レン「ロードローラーの頭金にしようかと。」

唯「美味しいものを食べ歩きたいな〜」

梓「新しい機材を買いたいです。」

Qハンターから逃げ切れる自信は？

ピーチ「あまり無い・・・かな。」

ワルイージ「曲がり角をつかって、逃げ切りたいなあ。」

ミク「まず見つからないことを優先にしたいです。」

零「微妙だな・・・たぶんムリだと思う・・・」

紬「殺気でハンターを感じられたらと・・・」

概要、逃走者、意気込み（後書き）

次回、いよいよゲームスタート!!!!

ゲームスタート！（前書き）

スタートは1番トレーラーからです。

ゲームスタート！

30XX年 とあるビル内にて

ゲームマスター「さあ、ゲームの始まりだ・・・」

といいながら、（forward）と書かれたパネルをタッチする。

すると、2体のハンターがエリアに転送された！

一方・・・

???「ゲームマスター。君のゲームを、ちよいと妨害させてもらうよ。フッフッフ・・・」

マリオ「逃げろー！！！」

15人「オー！！！」

ゲーム前、エリアに散らばる16人の逃走者達・・・

KAITO「どこに隠れよう・・・」

唯「ハンターはどこから来るのかな？」

ピーチ「ここにしましょう！」

レン「え？もう放出？」

ゲームスタートまで

10

ワルイージ「もう来る！」

9

律「ヤバイヤバイ・・・」

8

ルイージ「怖いよお・・・」

7

ミク「ここかな？」

6

紬「こちら辺で。」

5

ワリオ「離れたところにしておくか。」

4

リン「どうしたらいいか分かんない・・・」

3

さわ子「いよいよね・・・」

2

デイジー「ここだ!!」

1

梓「うう・・・緊張します。」

START

残り80:00

0円

プシュー-----!ガコン!-----!

エリアに2体のハンターが放出された！

漣「始まった・・・賞金も増えてるし・・・」

2体のハンターから逃げた時間に応じて賞金を獲得できる。それが・・・

R u n f o r m o n e y

逃走中

17

今回の舞台は、とあるサービスエリア。広さは、およそ東京ドーム2個分。

この中を、16人の逃走者が逃げ回る！！

ワリオ「おお！増えてる増えてるっ」

賞金は、1秒200円ずつ上昇。80分間逃げ切れば、何人でも96万円を獲得できる。

唯「うーん、自首もあのかな・・・」

また、このゲームは自首もできる。エリア内1ヶ所に設置された自首用電話から、

自首を申告すれば、その時点までの賞金を獲得できる。

但し、2体のハンターに捕まれば、賞金は0！

驚異のスピードとスタミナを持つハンターから逃げるのは、容易ではない！！

スタッフ「（ミッションには参加されますか？）」

ミク「行きます！頑張れば、マスターがご褒美くれるし！！」

果たして、ご褒美GETなるか・・・

梓「あ、唯先輩だ。」

唯「あ！あゝずにゃん！！」

梓と唯が合流。

梓「ちよつと・・・やめて下さい唯先輩！」

唯「いいじゃ〜ん」

逃走中でも、スキップは欠かさないようだ・・・

デイジー「レストランに行こう。」

移動を試みるデイジー。その近くに、ハンター。

ハンター「・・・・・・・・・・」

デイジー「ハンターに見つかりませんように・・・」

ハンター「・・・・・・・・・・」

二人の距離が、どんどん縮まる・・・

デイジー「あ。見えてきた・・・ってハンター!!!!!!」

ハンター「・・・・・・・・・・!!!!!!」

見つかった・・・

出会い頭だったため、距離はすぐに縮まり・・・

ポン！！

デイジー 確保 残り15人

デイジー「祈ってたのに」

祈り、届かず・・・

ワルイージ「メールだ。」

確保などの情報は、メールで知らされる。

紬「屋台通りにて、デイジー確保。残り15人。」もう確保者が・・・」

KAITO「怖い怖い・・・」

レン「ここから、ハンターとか見えるな。よし、ココを拠点にしよう--」

早くも拠点を決めた、ボーカロイド。

レン「見つかりやすいのがマイナスだけど・・・」

この作戦、成功するのか……

マリオ「もう5分……6万円!？」

さわ子「これはいい稼ぎになるわ」

その頃、ゲームマスターはというと……

ゲームマスター「そろそろミッション発令だな。」

と言い、(mission)とかかれたパネルをタッチするゲームマスター。

シュン……!

エリアに、3つのハンターボックスが設置された!!

この存在が、逃走者の欲望を掻き立てることになる・・・

??? 「よし、コレで行こう。」

また、謎の人物によって、ミッションの難易度が上がる!!

ゲームスタート！（後書き）

次回、ミッション1発令！！3つのハンターボックスの意味とは！
？

ミッション1発令！（前書き）

ついにミッション1が発令！その時逃走者は？

ミッション1発令！

残り70：00 120000円

ピリリリ ピリリ
♪

漣「ヒッ！！メールか・・・」

ピーチ「ミッション・・・来た・・・」

KAITO「これより賞金アップのチャンスを与える。」
「」

ワルイージ「残り60分までにエリア3ヶ所に設置されたハンターボックス

の隣のレバーを下ろせば、残り60分にハンターが放出される。」

紬「しかし、それと同時に1体放出につき100円賞金単価がアップする。」

何?・・・このミッション。」

ミッション 賞金単価をアップせよ!

逃走者に、賞金アップのチャンスが与えられた。ゲーム残り60分までに、

エリア3ヶ所（公園、中央館2F、コンビニ前）に設置されたハンターボックスの隣のレバーを下ろせば、残り60分にハンタ

1が放出される。

しかし、放出と同時に、1体につき100円賞金単価がアップする。

0体放出	1秒200円	賞金96万円
1体放出	1秒300円	賞金132万円
2体放出	1秒400円	賞金168万円
3体放出	1秒500円	賞金204万円

しかし、放出すると、確保の確率が高まる。果たして、逃走者は

賞金増額か身の安全のどちらを選ぶのか！？

ルイージ「ハンター増やしたくないから、パスしよう。」

レン「賞金は欲しいけど・・・ハンターは増やしたくないから、行かない。」

ミッションに行くか行かないかは、逃走者の自由だ。

ワリオ「行って損はないな・・・よし行こう!!」

律「一番近いのは公園かな・・・行ってみよう!」

ミク「コンビニの前についてみようかな。」

ミッションに向かうのは、ワリオ、田井中律、初音ミクの3人。

しかし動けば、

ハンターに見つかるリスクが高まる！

梓「唯先輩、ミッション行きますか？」

唯「私はいかないよ。あずにゃんは？」

梓「私も行きません。ハンター放出は嫌ですし。」

ミッションに向かわない二人。その前から、ハンター。

ハンター「……………」

唯「ギー太大丈夫かな」

梓「いや、そんな心配してる暇は・・・ってハンター!!」

ハンター「・・・・・・・・!!」

ハンターも、二人に気がついた! 距離は、およそ60m。

唯「あずにゃん、二手に分かれよう!」

梓「はっ、はい!!」

二手に分かれる梓と唯。ハンターが視界に捉えたのは・・・

梓「なんで私〜!？」

梓だ・・・

ハンターが、徐々に距離を詰める。

ハンター「(LOCK ON AZUSA)」

梓「はあ、はあ、もうダメ〜!!」

ポン!

中野梓 確保 残り14人

梓「あゝ捕まっちゃった。早いです・・・」

早々に、確保・・・

リン「確保情報だ。」

澁「中央館付近にて中野梓確保。残り14人。」梓捕まったか
」。

唯「うわぁーん、あずにゃーん!!（泣）」

ワルイージ「もう二人捕まってる・・・」

その頃、律が公園にあるハンターボックスに到着。

律「よし、レバーはどこかな・・・あったあった。」

早速レバーを下ろす。

律「よし下ろすか!」

ガシャン!! シーン・・・

律「・・・・・・・・あれ?ボックスが起動しないぞ?」

そこへ、ワリオが合流。

ワリオ「何してんだ?」

律「レバー下ろしたのにハンターボックスが起動しないんだよ!」

ワリオ「何だって?」

戸惑う二人の背後から、ハンター。

ハンター「・・・・・・・・・・。」

ワリオ「一体どうすればいいんだ？」

律「ん？ハンター来てるよ！」

ワリオ「マジかよ！とりあえず逃げろぞ！！」

ハンター「・・・・・・・・！！」

ハンターが、二人の姿を捉えた！

果たして、ワリオと律は逃げ切れるのか！？

一方・・・

ゲームマスター「これは一体・・・」

???「フフフ・・・まあこの仕掛けにいつ気づくかな?」

ミッション1発令！（後書き）

謎の人物がハンターボックスに施した仕掛けとは！？

ハンターボックスの秘密（前書き）

ハンターに見つかったワリオと律。果たして、ハンターから逃げ切れるのか！？

そして、ハンターボックスの秘密が明らかに！！

ハンターボックスの秘密

ワリオ「ヤバい！逃げるぞ！！」

律「でもミッションはー！？」

ワリオ「そんなもん後でいいだろ！」

別々に逃げる二人。

ハンター「・・・・・・・・・・？」

二人とも、うまく撒いたようだ。

ワリオ「ゼエ、ゼエ・・・危ね。」

律「でも離れちゃったなあ。」

しかし、ハンターボックスから距離が出てしまった！

一方・・・

ミク「やっと着いた。」

初音ミクが、コンビ二前のハンターボックスに到着。

ミク「よし下ろすぞ！」

ガコン!! シーン・・・

ミク「あれれ？」

公園のハンターボックスと同様に、レバーを下げててもボックスが起動しない!!

ミク「何で・・・？ん、これは!？」

律「そっぴやさっきのボックス・・・」

ミク・律「レバーがもう1本あった!!」

そう、謎の人物の手により、ハンターボックスのレバーがもう1本追加。

これにより、二人同時にレバーを下ろさなければ、ハンターボックスは

起動することができない!!

ミク「え、じゃあもう一人必要ってこと？」

一人では、ハンターボックスは起動できない!!

律「ワリオに電話しよう。」

ワリオ「電話？律からか。もしもし？」

律「ワリオ？今どこにいる？」

ワリオ「公園の傍の公衆トイレの裏だ。」

律「お願い、さっきのボックスのところに来て！レバーが2つあって、私一人じゃ起動できないんだ！！」

ワリオ「よしわかった！今向かう！！」

ミッション終了まで 5分

ルイージ「あれ、ミクさんだ。」

偶然、ルイージが初音ミクを発見。

ルイージ「何してるの？」

ミク「実は・・・」

(説明中)

ルイージ「なるほど・・・」

ミク「はい。なので、一緒にレバーを下ろしてもらえますか？」

ルイージ「でもハンター放出は嫌だし・・・」

ミク「賞金増えたら、獲得したときの喜びも増えるですよ！」

ルイージ「うん・・・わかった、下ろすよー!!」

ミク「ありがとうございます!!」

折れたルイージ・・・

ミク「いきますよ・・・」

ルイーダ「OK!」

ミク・ルイーダ「せいの・・・」

ガコン!!
x 2

ハンターボックス 起動

ミク「よし、起動完了!」

ルイーダ「早くここから離れよう!」

これにより、ハンター1体放出&賞金単価100円アップが確定。

マリオ「誰もミッション行っていないよな・・・」

さわ子「いまのままで十分よ・・・」

漣「（ブルブルブルブル・・・）」

ワリオ「よし、着いた！」

ワリオが、再び公園のハンターボックスにやってきた！

ワリオ「あとは待つだけか・・・」

律「あ 見えてきた！」

ミッション終了まで 3分

律の位置から、公園まではおよそ200m。果たして、間に合うのかー！

ハンターボックスの秘密（後書き）

次回、ミッション終了！賞金単価はいくらに！？

ミッション1終了!賞金単価はいくら?(前書き)

遂にミッション1が終了!賞金単価&ハンターの行方は!?

ミッション1終了！賞金単価はいくら？

ミッション終了まで 1分30秒

律「あつ、ワリオいる。」

ようやくハンターボックスに着いた律。

ワリオ「おい、遅いぞ。」

律「ゴメンゴメン。じゃあ早速下ろそう。」

ワリオ「ああ。」

律・ワリオ「セーの……」

ガコン！！

ハンターボックス 起動

律「あゝ疲れた。」

ワリオ「おい、休んでる暇はないぞ。早く離れるぞ！」

律「ああ！！」

これで、ハンター2体の放出と賞金単価プラス200円が確定。

ミッション終了まで 1分

ピーチ「1体くらいでできそう・・・」

唯「皆やってなってなければいいんだけどな」

レン「隠れたほうがいいのかな・・・」

ミッション終了まで 30秒

KAITO「大丈夫だよな？」

紬「りっちゃんならやりかねないかも・・・」

ワルイージ「なんかヤバくね？」

マリオ「ワリオとかやりそうだな。」

ミッション終了まで

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

0

プシュー！！ガコン！！！！

エリアに、2体のハンターが放たれた！！

リン「メール・・・「ミッション1結果」」

漣「「初音ミク、ルイージ、ワリオ、田井中律の4人により」」

ルイージ「「ハンター2体追加。現在ハンターは4体。」」

さわ子「倍に増えたじゃない！！何してんのよ！！」

ミク「「しかし賞金は1秒400円上昇。逃げ切れば168万円獲得。」」

ワリオ「まあ、いいんじゃないの。」

（牢獄d e トーク）

デイジー「あんなに札束が・・・」

梓「羨ましい限りです。」

マリオ「おいおい、やっちゃったな」

愚痴をこぼすマリオの近くに、ハンター。

ハンター「……………」

マリオ「まったく、冗談じゃねーよ。」

ハンター「……………」

マリオ「ゲーム終わったら説教してやる。」

ハンター「……………!!」

ハンターがマリオの姿を捉えた!しかしマリオはハンターに気づいていない!

マリオ「あー、これからどうっすかな・・・」

ハンター「(LOCK ON MARIO)」

マリオ「まあ・・・ってマジかよ!!」

マリオも、ハンターに気がついた!!

しかし、気づくのが遅く、あっという間に距離を縮められ・・・

ポン！

マリオ 確保 残り13人

マリオ「愚痴言い過ぎだな・・・油断した。」

バチが当たった、任天堂のスター・・・

律「確保情報か。」

レン「展望台付近にて、マリオ確保。残り13人。」

ルイージ「兄さん捕まった・・・僕のせいだ・・・」

唯「やっぱりハンター4体はキツイよ・・・」

ここまで、デイジー、梓、マリオの3人が確保され、残る逃走者は13人となった！！

ミッション1終了!賞金単価はいくら?(後書き)

ハンター4体となった逃走中。逃走成功者は現れるのか!?

残り55分(前書き)

逃走中、始まるよ!!

残り55分

残り55:00 360000円

現在、4体のハンターがエリア内をくまなく搜索。視界に入った逃走者を見失うまで追跡する。

リン「もうすぐ目標の40万円か」

ワルイージ「一気に賞金上がるペースが早まったな・・・」

賞金は1秒400円ずつ上昇。逃げ切れば、168万円を獲得できる。但し、ハンターに捕まれば、賞金は0。

さわ子「あーおいしそう・・・」

2Fレストランに潜む山中さわ子。美味しいものには目がないよ
うだ。

律「あれ、さわちゃんじゃね？何してんだろ。」

その近くに律と、

ハンター「……………」

ハンター。

さわ子「こっちのケーキも美味しそうね……」

律「やっぱりさわちゃんだな」

ハンター「・・・・・・・・・・。」

さわ子「こっちのステーキも・・・ってハンター!!」

ハンター「・・・・・・・・!!」

ハンターもさわ子に気づいた!!

律「ヤバイヤバイ!!」

律もハンターに気がついた!!

さわ子「何なのよ!!」

律「危なかった。」

律は1Fに降り、難を逃れたが、さわ子は2Fにいるため、袋の
ネズミである！

さわ子「イヤー、来ないでー！！」

ポン！

山中さわ子 確保 残り12人

さわ子「捕まった〜皆頑張って・・・」

桜高軽音部顧問、ここに散る・・・

ミク「メールだ。誰か捕まったのかな？」

唯「中央館2Fにて、山中さわ子確保。残り12人。」さわち
やん捕まった・・・」

KAITO「うわ、立て続けに捕まってるよ・・・」

紬「ハンターは・・・いないわね。」

エリアを移動する紬。

紬「あら？ここの草むら、なんだか変・・・」

紬の目の前には、不自然に揺れる草むらが。中には・・・

紬「これって・・・澪ちゃん？」

澪「ヒイ！？なんだムギかゝびっくりしたなあ。」

秋山澪だ・・・

紬「澪ちゃん、ハンター見た？」

澪「さっきコンビニの方に2体行ったよ。」

紬「分かったわ。ありがとう。」

残り52:00 432000円

リン「あ、40万円いった！自首しようかな？」

目標金額に到達し、自首に心が揺れる鏡音リン。

リン「でも、あと20万円分位、頑張ってみたいと思います。」

上乘せだ・・・

レン「誰かと会いたいな、一人じゃ不安だよ。」

ハンター追加に不安を感じ、他の逃走者を探す鏡音レン。

レン「誰かいないかな。あ、ヤバい、ハンターだ。」

展望台から、ハンターを発見。

レン「逃げなきゃ!」

ハンターを発見し距離をとるレン。しかし逃げる先に、別のハンター。

ハンター「……………」

レン「あそこを曲がって離れ……うわっ!!」

ハンター「……………!!」

見つかった……

来た道を引き返すレン。ハンターとの距離は、なかなか広がらない。

レン「ヤバイよ……」

その背後から、

ハンター「……………!!」

先程見つけた別のハンターが接近。

レン「後ろからも来てるし！」

挟まれた……

レン「あーもうダメだ。」

そして、諦めた・・・

ポン！

鏡音レン 確保 残り11人

レン「あー捕まった！」

唯「確保情報？」

ルイージ「展望台付近にて鏡音レン確保。残り11人。」

ミク「レン君が捕まった・・・」

ピーチ「全滅有り得るかも。だって、3分で二人も捕まっているもん・・・」

KAITO「平和だな。」

雲ひとつない青空を見上げる香気なKAITO。

KAITO「このままミッション無ければいいのになあ。」

ゲームマスター「そろそろ次のミッションを出すか。」

と言って、ゲームマスターは、(mission)と書かれたパネルにタッチする・・・

???「そう来たか・・・ならばこれでどうかかな?」

シュン!

謎の人物の操作により、エリアに謎の装置が出現した！！

ゲームマスター「この装置は・・・こうしちゃいられない！！」

慌てて（notice）と書かれたパネルにタッチするゲームマスター。

ゲームマスター「早く妨害元を突き止めなくては・・・」

残り55分（後書き）

次回、波乱のミッション2始動！！謎の装置の意味とは！？

ミッション2&通達1（前書き）

謎の装置の成す意味とは？そして今回のミッションは牢獄の確保者が活躍！！

ミッション2&通達1

残り50:00 480000円

(牢獄内)

ピリリリ ピリリ
♪

マリオ「ん？メールだ。「ミッション」？」

梓「私達に送っても意味無いんじゃない・・・」

さわ子「まあ読むわよ。」

レン「君達の腕についているのは、时限装置。」

デイジー「残り35分で起動し、強制失格となる。」

梓「回避するには、中央館3Fにあるレバーを下ろし、暗証番

号を出現させ、」「

さわ子「装置に入力しなければならない。」「

マリオ「なお、エリアに携帯電話無効化装置が出現。」「

レン「これにより、逃走者は携帯が使えないため、」「

デイジー「確保者たちでミッションを伝えなければならない。」「

マリオ「おいおい、マジかよ。」「

さわ子「皆、牢獄に来て!!」「

MISSION 時限装置を解除せよ！

逃走者の腕には、時限装置がついており、ゲーム残り35分に起動。強制失格となる。それを回避するには、中央館3Fに設置されたレバーを下ろし、トレーラーを動かして3桁の暗証番号を出現させ、装置に入力しなければならない！

通達 ミッションを伝達せよ！

謎の人物の操作によりエリア内に携帯電話無効化装置が出現した。これにより、逃走者は携帯電話が使えず、このミッションを知らない。そのため、牢獄にいる者たちで逃走者にミッションをつたえなくてはならない！

ワルイージ「メール来ないな・・・」

携帯電話が使えないため、メールを受け取ることができない！！

唯「あれゝ携帯つかないや。」

律「唯ゝ何してんだ？」

唯「あ、りっちゃん！！携帯使える？」

律「ダメダメ、電源切れてる。」

唯「そっかゝ」

ミク「さっきから光ってるこれ、何だろ？」

時限装置だ・・・

（牢獄内）

デイジー「おい誰か来てゝ！！」

梓「せんぱい！！」

マリオ「ルイージ！！姫ゝ！！」

現在、ミッションを知っているのは、牢獄にいる5人のみ！

KAITO「あ、ピーチさん。」

ピーチ「あら、KAITOさん。」

KAITO「ピーチさん、この光っているのが何か分かりますか？」

ピーチ「分かりません・・・携帯も使えないし。」

KAITO「僕も、携帯が使えないんです・・・」

ワリオ「お、ワルイージ!!」

ワルイージ「ワリオか!？」

ワリオ「ああ。それよりお前、携帯の電源は入るか？」

ワルイージ「俺のはダメだ。」

ワリオ「そうか。俺のもダメなんだ・・・」

ハンター「・・・・・・・・・・。」

KAITO「どうしましょう・・・」

ピーチ「携帯使えないし・・・」

ワリオ「クソッ、どうすれば復旧するんだ!？」

ワルイージ「突然切れたしな・・・」

ハンター「・・・!!」

ハンターに見つけたのは・・・

ワリオ「それはおかしい・・・ハンターだ!!」

ワルイージ「マジで!?!」

ワリオとワルイージだ・・・

ワリオ「ハア、ハア・・・」

ワルイージ「ヒイ、ヒイ・・・」

ハンターが視界に捉えたのは・・・

ワリオ「俺様かよ!？」

ワリオだ・・・

懸命に逃げるワリオ。しかし距離を詰められ・・・

ポン！

ワリオ 確保 残り10人

ワリオ「うわー！俺様の夢がぐー！！ワリオ城がぐー！！」

夢へと消えたワリオ城・・・

ここまで6人が確保され、残る逃走者は10人となった！！

紬「あら、牢獄がなんだか騒がしいわ。」

紬が、牢獄の異変に気づいた！！

紬「楽しいことでもしているのかしら」

レン「あ、誰か来る！！」

梓「ムギ先輩だ！！」

さわ子「ムギちゃん！！」

紬「皆、どうしたの？」

デ이지ー「実は、残り35分に時限装置が起動して、強制失格になっちゃったの！！」

マリオ「だから、中央館の3Fにあるレバーを下ろして出た暗証

番号を入れなきゃいけないんだ!!」

紬「分かったわ。行ってみる!!」

ミッシヨンの存在を知った紬、これからレバーの元へと向かう!

紬「中央館は・・・あっちね。」

中央館に向かう紬。そこへ・・・

リン「あれ紬さん。どこへ行くんです?」

鏡音リンだ・・・

紬「実は・・・」

説明中・・・

リン「なるほど・・・じゃあ私は、このことを皆に伝えます!!」

紬「お願いします!!」

鏡音リンは、ミッションの伝達に動くようだ。

残り45:00 6000000円

リン「あ、誰かいた！」

鏡音リンが見つけたのは・・・

ルイーザ「うう、怖い・・・」

ルイーザだ・・・

リン「ルイーザさん!!」

ルイージ「あ、リンさん。どうしたの？」

リン「実は・・・」

説明中・・・

ルイージ「本当に！！強制失格！？」

リン「はい・・・」

ルイージ「僕もレバーの所へ行くよ！！」

リン「お願いします！！」

ミッション2&通達1（後書き）

現在、ミッションの存在を知っているのは、紬、リン、ルイーダの3人！！

他の逃走者は、いつ気づくのか！？

番号出現！（前書き）

強制失格まで8分。まだミッションを知らないのは7人。逃走者の運命やいかに！！

番号出現！

残り43:00 648000円（強制失格まで8分）

ルイージ「駐車場に誰がいるな。」

駐車場に誰かを見つけたルイージ。見た人物とは・・・

唯「りっちゃん、これからどうするっ。」

律「どうするって言われてもな・・・」

唯と律だ・・・

ルイージ「おい!!」

律「ん？ルイージじゃん。どうしたの？」

ルイージ「じ、実は・・・」

（説明中）

唯「それ本当!？」

ルイージ「うん。そうなんだ。」

律「だったらヤバいな・・・」

唯「私達もいくよ!!」

ルイージ「助かるよ!ありがとう!!」

唯と律と合流したルイージ。しかし、大人数で動けば、ハンターに見つかるリスクが高まる！！

紬「やっと着いたわ。」

ようやく、3Fにたどり着いた紬。

紬「このレバーを下ろせばいいのね。よいしょっと！」

ガコン！ ゴゴゴゴゴ……

紬「あ、トレーラーが動き始めたわ。番号は……「407」ね。」

装置に番号を打ち込む紬。

紬「あ、光らなくなったわ！」

琴吹紬 MISSION CLEAR

ワルイージ「この光嫌だな」

まだミッションに気づいていないワルイージ。その近くに、

ハンター「……………」

ハンター。

ワルイージ「いかにも何かありそうだな・・・」

ハンター「・・・・・・・・・・。」

ハンターは、曲がり角の先にいる。

ワルイージ「駐車場に行くか・・・ってマジかよ!!」

ハンター「・・・・・・・・!!」

見つかった・・・

ワルイージ「うぉーーーーー!!」

必死に逃げるワルイージ。逃げた先には・・・

ミク「あ、ワルイージさん。ってハンター!」

初音ミクだ・・・

ワルイージ「このーーーーー!」

ミク「何で私までーーーー!?」

巻き添えだ・・・

ワルイージ「負けるかあーーーーー」

そしてワルイージが初音ミクを追い抜き、ハンターの標的が初音

ミクに変わった!!

ハンター「LOCK ON MIKU」

ミク「キャーーーー!!」

ポン!

初音ミク 確保 残り9人

ミク「ワルイージさん・・・」

巻き添えをくらった、ボーカロイド・・・

リン「先に解除してからのほうがいいよね。」

と言い、3Fにやってきた鏡音リン。

リン「あ、もうレバーがおろしてある。紬さんかな？」

レバーは、既に細が下ろしている。

リン「4 / 0 / 7 と・・・よし消えた!!」

鏡音リン MISSON CLEAR

律「あ、ちょっとストップ!!」

ルイーダ「どうしたの?」

突然、止まる律。

唯「りっちゃん？」

律「あれ、漣じゃね？」

ルイージ「本当だ、漣さんだ。」

唯「おーい漣ちゃん」

漣「おいおい、こんなに集まってどうしたんだ？」

ルイージ「実は・・・」

説明中

漣「ホントか！？私もいくよ！！」

律「よし、4人でいくぞ！！」

唯「オーーーーー!!」

ルイージ「お、オー・・・」

現在、次のような状況である。

時限装置解除・・・紬、リン

ミッション既知・・・ルイージ、唯、律、澪

ミッション未知・・・KAITO、ピーチ、ワルイージ

強制失格まで5分。間に合うのか!?

番号出現！（後書き）

ワリオ・・・中央館1Fで確保

ミク・・・駐車場で確保

補足情報です。

ミッション2終了！強制失格者は？（前書き）

遂にミッション2終了！！果たして全員时限装置を解除できるのか
！？

ミッション2終了！強制失格者は？

残り40：00 720000円（強制失格まで5分）

ルイージ「着いた〜」

律「ちゃっちゃと解除しようぜ。」

唯「そっだよ〜」

漣「私はハンターが来てないか見張っているから。」

ルイージ「407だね。」

唯「おお！消えた！！」

律「漣！407だ！！」

漣「分かった！」

ルイージ、平沢唯、田井中律、秋山澪
MISSION CLE
AR

これで、まだミッションをクリアしていないのは、KAITO、
ピーチ、ルイージの3人。なお、この3人はまだミッションを知
らない！

ルイージ「ここら辺に隠れるか。」

ルイージが隠れ場所に選んだのは、番号のある中央館3F。

ルイージ「こんな感じで……ん、なんだありゃ？」

そして、番号に気づいた！！

ワルイージ「何だあの数字・・・そうか！これに打ち込むのか！
」

さらに、装置にも気づいた！！

ワルイージ「4 / 0 / 7・・・お、消えた消えた♪」

ワルイージ MISSION CLEAR

ワルイージ「何だった・・・この装置。」

これで、装置を解除していないのは、KAITO、ピーチの二人。
このままでは、強制失格となってしまう！！

強制失格まで 3分

KAITO「どうしまじょっ」

ピーチ「そうですね・・・」

その二人の背後から、

ハンター「・・・・・・・・・・。」

ハンター。

KAITO「とりあえず僕はあっちへ・・・来た!!」

ピーチ「え!?!」

ハンター「……………!!」

ハンターも、二人を見つけた！

KAITO「フー。撒いたかな？」

トレーラーを利用し、ハンターの視界から消えた。

ピーチ「ハア、ハア……」

一方、ピーチはまだハンターに追われている。

逃げる先に、別のハンター。

ハンター「……………」

ピーチ「前からも!？」

挟まれた……

ポン！

ピーチ 確保 残り8人

ピーチ「アーン、悔しいー！！」

ハンターに挟まれると、確保はほぼ免れない！！

（牢獄内）

レン「確保情報！」

さわ子「誰が捕まった？」

レン「ピーチ確保！残り8人！！」

マリオ「姫ーーーーー!!」

梓「静かにしてください。」

マリオ「……ハイ……」

強制失格まで 2分

KAITO「誰とも会わないなあ……」

KAITOは、まだ时限装置を解除していない。このままでは、2分足らずで強制失格となる!!

リン「後誰が解除していないのは誰？」

ルイージ「もう皆解除しているよね？」

律「もう解除していないとマズいよな・・・」

強制失格まで 1分

KAITO「中央館に行こう。」

唯「誰も失格にならなければいいけど・・・」

ワルイージ「このままゲーセンに隠れるか。」

強制失格まで 30秒

KAITO「2Fじゃ見つかるかな・・・3Fに行こう。」

漣「失格なんて嫌だな」

紬「でも、何で携帯が使えないのかしら？」

強制失格まで 15秒

ワルイージ「おいKAITO！装置解除したか？」

KAITO「へ？何のことですか？」

強制失格まで 10秒

ワルイージ「エーーーーー！お前やばいぞ！さっさと番号打てよ！！」

KAITO「へ？へ？」

8

ワルイージ「ダーーーーーもう！貸せ！！」

7

ワルイージ「4 / 0 / 7と・・・よしOK！！」

KAITO MISSION CLEAR

KAITO「あ、ありがとうございます・・・」

ゲームマスター「危なかった・・・こんな装置はさっさと消してしまおう。」

シュン！！

ゲームマスターにより、携帯電話無効化装置が撤去された。

残り35:00 840000円

律「あ、携帯戻った。」

ルイージ「携帯は使えないと困るよね。」

湊「お、「ミッション2結果・・・」」

KAITO「全員時限装置を解除。強制失格者は無し。」よか
った」

唯「子供の頃を思い出すな」

公園内のトンネルに潜む、唯。その近くに、

ハンター「……………」

ハンター。

唯「小さい頃、憂と一緒にブランコいだけ。懐かしいな」

ハンター「……………」

唯「あ、ムギちゃんだ。ほら、展望台の上。」

ハンター「……………」

徐々に迫る、不穏な足音。

ハンター「……………」

ハンターが、唯の潜むトンネルに近づく。

唯「あ、ハンターも見えた。でも木が邪魔で見えないや。」

ハンター「・・・・・・・・・・。」

そしてハンターが唯のいるトンネルを覗いた！

ハンター「・・・・・・・・・・！！」

ポン！

平沢唯 確保 残り7人

唯「えー！いたの！？全然気づかなかったよ」

一瞬の、出来事・・・

リン「メールだ。」

紬「公園にて平沢唯確保。残り7人。」唯ちゃん……」

ワルイージ「逃走者も半分切ったな……」

（牢獄内）

梓「唯先輩捕まった……」

さわ子「後は澪ちゃん、りっちゃん、ムギちゃんね……」

ワリオ「ワルイージがまだ残っているのは驚きだなあ。」

ここまで、9人が確保され、残る逃走者は7人となった！！

ミッション2終了！強制失格者は？（後書き）

半分以上となった逃走者。逃げ切る者は現れるのか！？

残る逃走者：ルイー ジ ワルイー ジ 鏡音リン K A I T O 秋山
澪 田井中律 琴吹紬 7人

残り25分　　ゝ幕間ゝ（前書き）

ゲームも残り25分。逃走者7人に対しハンターは4体。一体どうなる！！

残り25分　　～幕間～

残り25：00　　1080000円

ワルイージ「お、100万円いった。」

律「うわゝ、さわちゃんだったら自首しそうな金額だな・・・」

さわ子「ヘックション!!」

唯「あれゝさわちゃん風邪?」

さわ子「きっと誰かが私の噂をしているのよ。りっちゃんとか。」

予想的中だ・・・

リン「あ、ハンターだ。」

前方にハンターを発見したリン。

リン「隠れていたほうが得策なのかな・・・」

紬「ハンター・・・」

裏道にいる紬も同じく、前方にハンターを発見。

紬「とりあえずここに・・・」

近くの草むらに、身を隠す。

ハンター「……………」

気づけなかったようだ。

紬「ここは危険ね。移動しましょう。」

残り23:00 1128000円

KAITO「ゲーセンってこんなにうるさかったっけ？」

中央館3Fのゲームセンターに潜むKAITO。

KAITO「これじゃハンター来てもわかんないよ・・・

ゲームの音が、邪魔なようだ・・・

その下の階には、

律「ここなら大丈夫だな！」

律だ・・・ その背後から、

ハンター「・・・・・・・・・・。」

ハンター。

律「とりあえずこちら辺に・・・おわぁ！ハンターおった！！」

ハンター「・・・・・・・・！！」

見つかった・・・

律「さっき下にいたな・・・上に行こう！！」

3Fに逃げる律。

KAITO「あれ、律さんだ。ヤバ、ハンターもいるし。」

ハンターの接近に気づき、身を低くするKAITO。

律「そうだ！あそこのゲ・センに逃げ込もう！！」

律が、K A I T Oのいるゲームセンターに逃げ込む。そして・・・

律「K A I T O、ハンター来てるぞ!!」

K A I T O「エーーーー!!」

K A I T Oも、ハンターに見つかった!!

ハンターが視界に捉えたのは・・・

KAITO「なんで僕なの！？」

KAITOだ・・・

ハンター「(LOCK ON KAITO)」

KAITO「疲れてきた・・・」

長く走っているため、体力があまり残っていないKAITO。そして・・・

ポン！

KAITO 確保 残り6人

KAITO「アーーーーー100万円がーーーー！！」

叫んでも、100万円は帰ってこない・・・

澪「メール来た・・・」

ルイージ「中央館3FにてKAITO確保。残り6人。」
「ほとんど減ってる・・・」

リン「ボカロ勢私だけだ・・・」

残り20:00 12000000円

ワルイージ「もうすごい金額だな・・・」

律「まだ20分もあるのか」

ハンター「・・・・・・・・・・。」

ワルイージ「なんか捕まりそう・・・。」

律「なんで時間はこんなにゆっくりなのかな」

ハンター「・・・・・・・・・・。」

ワルイージ「駐車場に行くか!!」

律「中央館に戻ろう!」

ハンター「・・・・・・・・!!」

ハンターが見つけたのは・・・

律「えっと、こっちの方角かな・・・マジで!？」

律だ・・・

唯「あ、りっちゃんが追われている!」

レン「頑張れー!!」

ピーチ「逃げて〜!」

梓「律先輩ーーーー!!」

律「ヒィ、ヒィ・・・しつこいな・・・」

ハンター「(LOCK ON TAINAKA)」

律が逃げた先にも、ハンター！

ハンター「……………！！」

律「うげっ！！こっちからも来た！」

2体のハンターに追われる律。次第に体力はなくなり……

ポン！

田井中律 確保 残り5人

律「アーーーー捕まったーーーーー」

その場に、倒れこむ。

（牢獄内）

ワリオ「確保情報！！」

デイジー「誰なの？」

ワリオ「駐車場にて田井中律確保！残り5人！！」

牢獄内「アーーー・・・・・・・・」

さわ子「もう5人か・・・」

マリオ「皆、頑張れー！！」

漣「律捕まったか・・・」

コンビニ内に潜む、漣。

漣「よし、絶対に逃走成功するぞー！！」

友のためにも、逃走成功を誓う。

「???」よし、これで終わりにしよう。」

シュン!!

謎の人物により、新たな装置が転送された!!

ゲームマスター「クソ、どこまで邪魔すれば気が済むんだ!!」

それを見て、憤りを感じるゲームマスター・・・

ゲームマスター「そうだ、これをミッションに利用しよう!!」

シュン!!

ゲームマスターにより、5体のハンターが転送された！！

残り25分　ゝ幕間ゝ（後書き）

次回、ミッション3始動！結末やいかに！！

ミッション3始動！（前書き）

ミッション3が、いよいよ始動！賞金も120万円に到達。一体どうなる！？

ミッション3始動！

残り20:00 1200000円

ワルイージ「メール・・・」

リン「ミッションか・・・これで見納めかな？」

紬「10番トレーラーのコンテナに5体のハンターの入った檻を設置した。残り5分になるとエリアに放たれる。」

ルイージ「阻止するには、コインロッカーの中にある2つの番号を入力し、檻をロックしなければならない。」

漣「但し、40個のコインロッカーのうち、正しい番号は二つだけだ。」またハンター増えるの!？」

ワルイージ「またエリアに現れた誘導装置により、残り10分から5体の通報部隊が投入される。気をつけたまえ！」マジかよ!？」

MISSION ハンター放出を阻止せよ！

10番のトレーラーのコンテナに5体のハンターが入った檻が出現。残り5分になると檻が開き、ハンターが放たれる。それを阻止するには、40個のコインロッカーのうち、正しい2つの番号を装置に打ち込み、檻をロックしなければならない！！

通達 通報部隊に気をつける！

謎の人物により、エリアに通報部隊が残り5分より投入。彼らは逃走者を見つけ次第、笛を鳴らしてハンターを呼び寄せる。

紬「まずはコインロッカーに行かなきゃ！」

ワルイージ「これはいかないとマズいな・・・」

リン「これは行きます！！」

漣「ハンター9体だと絶対逃げ切れないな・・・行くか!!」

次々とミッションに動く逃走者達。しかし動けば、ハンターに見つかるリスクが高まる!

ルイージ「もう・・・自首します!もう恐怖に耐えられない!!」

自首を決めたルイージ。自首用電話まで約200m。

ルイージ「よし、そうと決まれば動こう!!」

果たして、自首成立なるか・・・

澪「ロッカーは・・・ここか・・・」

最初にやってきた澪。ここから、番号を入手しなければならない。

澪「とりあえず10個くらい試してみるか。」

と言い、1～10番のロッカーから、番号が書かれたボードを取り出す。

澪「うう怖い・・・大丈夫だよな？」

残り17:00 1272000円

「ワルイージ」通報部隊投入の前にミッションクリアしたいな・・・

「ミッションに急ぐワルイージ。」

「ワルイージ」クソ、ハンターがいて進めないな・・・」

「ハンター」・・・・・・・・・・。」

「思うように、動けない・・・」

「ルイージ」着いた」

「自首用電話にたどり着いたルイージ。」

ルイージ「よし、番号を入れて・・・早く繋がって・・・」

そこへ、ハンター・・・

ハンター「・・・・・・・・！！」

見つかった・・・

ルイージ「ヤバ、ハンターだ！！」

ハンター「LOCK ON LUIGE」

勝
つ
た
の
は
・
・
・

ルイージ「ルイージです！自首します！！」

ルイージ 自首成立 1296000円獲得 残り4人

ルイージ「あゝ怖かったよお・・・」

恐怖とも、おさらばだ・・・

（牢獄内）

ワリオ「メール！」

ミク「内容は？」

ワリオ「えっと・・・」「ルイージ自首成立。残り4人。」

牢獄「エーーーーー！？」

律「何してんだよ!!」

マリオ「やっぱあいつはヘタレだな。」

KAITO「同感です。」

澪「ここか・・・」

10番トレーラーにたどり着いた澪。

澪「じゃ、早速入れるか。023・・・違う。405も違う。」

40個の番号のうち、本物は2個だけだ。

残り13:00 1368000円

リン「あゝ着いた。」

ワルイージ「長かったな・・・」

紬「早く他の番号を持って行きましょ!!」

一方、3人もコインロッカーに到着。これより10番トレーラーに向かう。

ミッション3始動！（後書き）

通報部隊投入まで3分。ハンター放出まで8分。果たして、5体のハンター放出を防げるのか！！

残る逃走者：ワルイージ 鏡音リン 秋山澪 琴吹紬 4人

番号を探せ！！（前書き）

ハンター放出まで7分。通報部隊投入まで2分。まだ番号は入力されていない！！
間に合うのか！？

番号を探せ！！

残り12:00 1392000円

漣「これも・・・違う。一体どれなんだ!？」

現在、装置には漣ただ一人。

漣「誰か来てくれるといいけどな・・・」

紬「ハンター・・・」

ハンター「・・・・・・・・・・。」

紬「少し回り道しなきゃ・・・」

ハンターを見つけ、思うように進めない・・・

リン「早くこれをもっていかなきゃ・・・」

装置へ急ぐリン。その近くに、

ハンター「・・・・・・・・・・。」

ハンター！。

リン「それにしても、10枚は重いな・・・腕が疲れるよ。」

ハンター「・・・・・・・・・・。」

リン「でも、この状態でハンターに見つかったら・・・って本当に見つかったーーーーー!!」

ハンター「・・・・・・・・・・!!」

ハンター「に見つかり、逃げるリン。しかし、番号が書かれたボードを置いてしまった!!」

リン「あそこを曲がって・・・」

トレーラーを利用し、ハンターとの距離をとる。

ハンター「……………」

うまく、撒いたようだ。

リン「危なかった、でも距離が出ちゃったな……戻らないと……」

残り11:00 1416000円（通報部隊投入まで1分
ハンター放出まで6分）

漣「213……よしOK!!」

ようやく、1つ目の番号を入力した漣。

漣「でも、もう入れる番号がないな・・・」

もっている全ての番号を打ってしまったため、もう入力する番号がない!!

そこへやってきたのは・・・

紬「漣ちゃん!!」

漣「ムギか!?!」

紬だ・・・

紬「今どんな感じ？」

漣「今やっと1つ成功したところだな・・・」

紬「そう・・・じゃ、これも頼める？」

漣「分かった！」

通報部隊投入まで 30秒

ワルイージ「おい!!」

紬「あ、ワルイージさん。」

ワルイージ「そろそろ通報部隊が投入される。一旦離れた方がいい！」

澪「そうだな・・・ひとまず隠れるか。」

通報部隊投入まで

1
0

9

8

7

1

2

3

4

5

6

0 タッタッタタ・・・

エリアに、5体の通報部隊が投入された！

（牢獄内）

全員「ウワーーーーー！！！」

ピーチ「これが、通報部隊・・・」

唯「5体でも多いな」

レン「皆、頑張れー！！！」

マリオ・KAITO「（白スーツって・・・ケ・・・の力・・・かよ・・・）」

さわ子「（あんな男・・・イイかも）」

残り09：45 1446000円

ワルイージ「そろそろいいんじゃないか？」

紬「そうね。」

漣「よし、戻るか・・・」

再び、装置を目指す3人。一方・・・

リン「あ、あった」

リンも、落とした番号が書かれたボードを発見。

リン「早く行かなきゃ・・・」

再び、装置を目指す。

残り09:15 1458000円

漣「564・・・じゃないか、802・・・もダメだ。」

装置に入力し続けている漣。

ワルイージ「ハンターいたか？」

紬「いえ、いません。」

それを、ワルイージと紬が見張っている。そこへ・・・

通報部隊「・・・・・・・・・・。」

通報部隊が接近。

ワルイージ「こっちもいな・・・ヤベ、通報部隊来た。」

零「本当か!？」

紬「これはマズいわ・・・」

そして・・・

通報部隊「!ピーーーーー!」

気づかれた・・・

漣「ど、どうしよう・・・見つかった・・・」

ワルイージ「どうするっ たって・・・」

紬「ひとまず逃げるわよ。」

ハンター「・・・！！」

笛の音は、ハンターを呼び寄せる！

ワルイージ「ゲ、ハンターも来た！」

漣「あの笛のせいだな・・・」

番号を探せ！！（後書き）

3人は、ハンターから逃れられるのか！？そして、ハンター放出は免れるのか！？

恐怖の通報部隊・・・そして、ミッション終了！（前書き）

ハンターを呼び寄せる恐怖の通報部隊が、ミッションクリアを妨げる。

果たして！？

恐怖の通報部隊・・・そして、ミッション3終了！

残り 09:00 1464000円

ワルイージ「とりあえず分かれよう。」

紬「そうね・・・」

澪「急ぐぞ！！」

別々に逃げる3人。

しかし、リン同様、ボードを捨ててしまった！

ワルイージ「ハアハア・・・」

紬「ここに隠れば・・・」

漣「（怖い怖い怖い・・・）」

通報部隊・ハンター「・・・・・・・・・・？」

3人全員、通報部隊とハンターの視界から外れた！！

漣「助かった・・・」

紬「でもボードを置いてきちゃったわ。」

ワルイージ「手間がかかるな・・・」

残り08：30 1476000円

リン「ここだよね？」

リンが、装置に到着。

リン「この10枚の中にあるかな？」

それは、分からない・・・

澪「通報部隊だ・・・しかも2人。」

ワルイージ「クソ、こんな時にハンターかよ。」

通報部隊、ハンターに阻まれ動けない2人。

ハンター放出まで 3分

リン「350、561、468・・・全部違う!!」

現在、装置の前には鏡音リンただ1人。

リン「どうしよう・・・もう番号がないよ・・・」

どうやら、持っている全ての番号を入力してしまったようだ。

紬「あつたわ!!」

紬が、落としたボードを発見。

紬「ついでに、ワルイージさんの分も・・・」

ハンター放出まで 2分30秒

漣「あとちょっと・・・」

ワルイージ「あそこにも・・・回り道するか。」

紬「20枚って重いわ・・・」

リン「誰か、番号持ってきて！」

ハンター放出まで 2分

（牢獄内）

ワリオ「後2分か・・・」

レン「ハンター9体になるとキツ過ぎるよね・・・」

律「ムギ、漣、頑張れーーーー！！！」

漣「あ、誰がいるな。」

装置のある場所に、戻ってきた漣。

リン「あ、漣さん！ボード持ってますか？」

漣「ゴメン・・・私が持っているボードは全部入力しちゃった・・・」

リン「えー？じゃあどうすれば？」

漣「さっきムギが落としたボードを探すって言ってたけど・・・」

リン「そうですか・・・」

紬「ハア、ハア・・・」

紬から装置までおよそ100m。

フルイージ「ここにも・・・どうすりゃいいんだ!？」

ハンター放出まで 1分

紬「澪ちゃん、リンちゃん!」

澪「ムギか!？」

リン「ボードをください!」

紬「ええ!!」

ワルイージ「どうだ!？」

澪「今番号を入力している所だ。」

ワルイージ「そうか。」

ハンター放出まで 30秒

紬「あと9枚よ!」

リン「ハイ!!」

ワルイージ「俺は見張ってるからな。」

漣「あ、私も。」

紬「あと5枚・・・」

リン「早く・・・もっと早く・・・」

ハンター放出まで

10

9

8

7

6

リン「296・・・よしOKだ!!」

MISSION CLEAR

ワルイー「ジ「た、助かった」

澪「後5秒だったな。」

紬「危なかったわ、でも楽しい」

ワルイージ・リン・澪「……………」

（牢獄内）

梓「メールです！」

デイジー「結果はどう？」

梓「え〜と・・・」秋山澪、鏡音リンの活躍によりミッションクリアしました！！」

梓以外「「オオーーーーー！！！」」

ワリオ「後は結果だな。」

唯「みんな、頑張つて」

残り04:40 1568000円

リン「後5分・・・早く過ぎて」

公園に隠れるリン。その近くに・・・

通報部隊「・・・・・・・・。。。」

通報部隊・・・

リン「あ、通報部隊。ヤバイな〜。」

通報部隊「……………」

リンがいる遊具に近づく、通報部隊……

通報部隊「！ピーーーーー！！！」

リン「キャ！？見つけた！！！」

恐怖の通報部隊・・・そして、ミッション3終了！（後書き）

通報部隊に見つかり、笛を鳴らされた鏡音リン。一体どうなる！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1237ba/>

逃走中 ～ 謎の人物との対決～

2012年1月13日23時49分発行